

令和3年度第3回流山市行財政改革審議会次第

令和3年7月21日（水）

14時～15時30分

第1庁舎3階庁議室

1 議題

- (1) まちづくり報告書に関する意見の集約について
- (2) その他

2 配布資料

- 【資料1】第2回行財政改革審議会意見（概要）

第2回行財政改革審議会意見(概要)

1. まちづくり報告書の評価の内容について

(1) 俯瞰的な視点からの評価について

<ul style="list-style-type: none"> ・全体構造が明確に示されており、俯瞰的な視点から評価が行われている。 ・体系化できており分かりやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・各施策のリソース配分が分かると、選択と集中の議論が進むのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・指標を設定する際も、俯瞰的視点で考えてはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で要点が掴みにくいことについて、 <ul style="list-style-type: none"> ・エグゼクティブサマリーを作成するとよい。 ・外部向け・内部向けと報告書を分け、外部向けについては情報量を選択されたい。 ・ルーチン事業等が含まれているため、重要事業に絞ってはどうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・指標について、1つのアンケート結果のみ設定している場合があるが、定量データ等も合わせて指標として判断したほうが、精度が高まるのではないか。

(2) 各事業の活動や成果の「見える化」について

<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標と成果指標を設け、「各事業の進捗」と「市民の満足度等」が別々に見える化できる構成になっており、高く評価できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題について記載があると、PDCA サイクルが見えやすくなるのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・成果について他市と比較できる情報があると、実態が把握しやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標と成果指標を混乱しているものが見受けられるため、精査が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・指標が改定されていないものは精査してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・目標値や実績の内容によって、市民が疑問を抱くと予想されるものは、理由を記載してほしい。

(3)部局横断的な評価について

<ul style="list-style-type: none"> ・各事業に対し主幹課と関連課が設定されており、各課の関係性が明示できている。
<ul style="list-style-type: none"> ・関連課の定義が分かりづらい。また、市民から見て関連していると思われる課の記載がない事業があり、精査が必要ではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標を関係課で共有することで課間での議論が活発になり、より横断的な評価が進むと思う。そのような成果指標の設定が必要ではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・部局ごとに縦割りで作成されているため、全体を把握するためには、読み手が横串に読み解く必要がある。コロナウイルス対策事業のように重要度の高いテーマについては、別途、横串目線からの評価をまとめたレポートがあると分かりやすい。
<ul style="list-style-type: none"> ・横串に評価を行い、施策の優先度を決定するためには、そのための体制が必要であると思われる。

2. まちづくり報告書の活用に関して

<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の最終目標値を定めることで、達成した事業へ投資していたリソースを他の遅れ気味の事業に回すという判断に活用できるのではないか。